

区分	評価指標	H28実績	H29実績	H30実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	18,989	15,609	13,455	0.86	・財政状況が厳しく資料購入費が減っている中、計画的に資料購入を進め、充実した蔵書構成となるよう努めた。 ・個人登録者数、入館者数は減少しているが、展示を工夫した結果、3館とも貸出点数を伸ばすことができた。	・予算削減の中、努力されていて評価する。 ・資料購入費が減らされている中で、図書館が工夫し努力していることが分かる。 ・展示のテーマに関連した本を集めていて興味が広がる。 ・財政状況が厳しい中での計画的な資料購入は評価できると思う。
	蔵書点数(点):図書・AV	183,871	183,121	180,941	0.99		
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	716,816	708,154	711,545	1.00		
	個人の登録者数(人)	19,753	20,634	20,448	0.99		
	(内新規登録者数)	2,447	2,395	2,311	0.96		
入館者数(人)	後期 新規 467,202	450,432	449,866	1.00			

区分	評価指標	H28実績	H29実績	H30目標	H30実績	自己評点	R1目標	評価(次年度への展開)	
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」					自己評価	外部評価		
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	17,406	18,187	18,651	18,473	2	18,800	・坂井輪図書館のレファレンスカウンターが周知されてきたため窓口で声をかけていただく機会が増えた。 ・予約件数は3館とも増加した。	・レファレンスカウンターは地味だが大事なので、これからも周知に努めてください。 ・レファレンスカウンターの充実は今後もご尽力願います。
	個人予約件数(件)	147,344	147,765	148,000	153,169	3	153,000		
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	-	-	-	-		-		
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」					自己評価	外部評価		
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	10,115	10,692	11,000	11,085	2	11,200	・郷土行政資料は、情報収集・資料発掘に努めたため計画どおり蔵書冊数を増やすことができた。 ・郷土行政資料の貸出冊数の目標を達成することはできなかった。今後も更に魅力発信に努めたい。	・郷土行政資料の貸出冊数の目標を設定すること自体あまり意味がないことではないか。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	7,353	6,743	7,000	6,184	2	6,200		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	後期 新規 1	0	1	0	1	1		
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	後期 新規 5	2	2	1	1	1		
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」					自己評価	外部評価		
	児童書の貸出冊数(冊)	191,545	197,126	197,100	199,982	3	200,000	・児童書については、読み聞かせで使用した本やテーマ展示を工夫した結果、目標を上回る貸出冊数となった。 ・子ども親子対象事業の参加者数は、目標に僅かに届かなかった。 ・職場体験受入、職員の派遣については、依頼に応じて行い、前年並みの件数であった。 ・公民館等との連携・協力事業については、過去の地域イベントを検証し、職員の労力に見合った利用促進につながらないため実施を取りやめた。	・教科書関連コーナーが分かりにくい。 ・スペースが厳しいが、児童書は、もっと面出しできると楽しい。 ・事業精査が必要。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	後期 新規 3,191	4,200	4,200	4,098	2	4,100		
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	3,530	4,266	4,000	3,962	2	3,900		
	職場体験受入人数(人)	45	20	34	22	1	22		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	後期 変更 26	14	14	12	2	12		
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	後期 新規 3	3	3	1	1	1		
	市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」					自己評価	外部評価		
	図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,074	870	870	805	2	800	・図書館ボランティア活動者数の減は、坂井輪図書館の書架整理ボランティア数の減少による。 ・引き続き活動のPRに努めるとともに図書館とボランティアとのより良い関係を継続していきたい。	・利用者やボランティアの意見を聞く機会を工夫する必要があると思う。 ・図書館とボランティアとのより良い関係の継続には、なんらかの財政的措置が必要ではないか。
	ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	-	-	-	-		-		
	利用者の意見を把握する機会の設定(回)	5	5	3	5	3	4		
共催・協働事業の実施件数(件)	後期 変更 30	31	33	30	2	23			
効率的・効果的な運営(職員)					自己評価	外部評価			
研修参加職員数(延人数)	167	112	105	170	3	130	職員のスキルアップのため、可能な限り内部研修、外部研修に参加するよう努めた。	・図書館を支えるのは職員の力なので、これからもいろいろな研修に参加してください。	

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った